

～先輩職員の声～

平成28年度選考採用

成田税関支署 旅具通関部門



税関に入る前は、約14年間物流会社で国際輸送の営業や通関、保税業務等に従事していました。その中で、税関の方々とは保税蔵置場での検査や書類審査、監査の場等で接する機会があり、官と民の立場は異なりますが、日本の表玄関を守る税関業務に関心を持っていました。今まで培った知識や経験を活かしながらも、新しいことに挑戦したいと思い選考採用試験に応募しました。

現在、成田空港で旅具通関の業務に従事していますが、旅客の携帯品検査や徴税、摘発事案への対応など、当初考えていたよりも業務の幅が広く、知識と経験の積み重ねが必要であると実感しています。税関の職場は、これまでの経歴に関係なく新たに加わった職員を受け入れる温かさがあり、個々の特徴を尊重しつつ長所を活かして成長できる職場だと思います。また、当直勤務を通じて職員同士が苦楽を共にし、やりがいを共有し、チームとして目標達成と課題解決に向かって進んでいくような一体感に溢れた職場です。今後も初心を忘れず、何でも吸収して、税関職員として社会に貢献できるよう努めたいと考えています。

平成29年度選考採用

羽田税関支署 旅具通関部門



税関に入る前は民間企業の貿易部門で輸入事務と商品開発を担当しており、輸入貨物の通関や商品開発における事前教示などで税関と関わりがあったことから、税関の業務に興味を持っていました。海外と日本との間を行き来するモノの動き・ヒトの動きを毎日最前線で見ることが出来ること、また違法薬物や知的財産侵害物品を水際で取り締まることで国民の生活や企業の財産・権利を守る仕事に従事することに魅力を感じ、税関を志望しました。

税関に採用となって感じたことは、職員それぞれが業務のプロフェッショナルになるべく常に自己研鑽に励んでいるのが印象的でした。研修制度も充実しており、学び続ける事を忘れないという姿勢があります。また、選考採用が始まったのは最近ではありますが、それ以外にも他省庁や他機関から出向されている方もおり、バックグラウンドの異なる方を柔軟に受け入れて、組織を活性化させていこうという雰囲気があると思います。さらに、女性管理職が活躍していることや、女性職員だけでなく男性職員も長期の育児休業を取得する方がいるという面を見ると、ワークライフバランスにも配慮された職場だと感じます。選考採用という枠で入関した自分の役割は、おそらく組織の“スパイス”になることなのではと感じています。まだまだ目の前の仕事に集中することに精一杯ではありますが、これまでの職務経験を活かした視点で業務に取り組み、税関の使命の実現へ貢献してゆきたいと思っています。

平成30年度選考採用

業務部 特別通関部門



私は、大学卒業後、金融機関に就職し、法務・リスク管理業務を中心に従事していました。特に、「振り込め詐欺」など金融機関の提供するサービスを悪用した犯罪の未然防止のための業務に長く携わっていました。

昨年、税関の選考採用試験があることを知り、税関の使命の一つである「安全・安心な社会を実現する」ために仕事をすることに魅力を感じました。私のこれまでの金融機関における経験や知識を税関業務に活かせるのではないかと考え、応募しました。

現在は、業務部特別通関部門において、輸出入申告される航空貨物の審査、検査等の業務を行っています。通関業務はとても幅広く、各種法令に抵触していないか、適用税率は正しいか、申告内容と実際の品物は一致しているかなど多岐にわたってチェックします。

私自身、今まで通関業務の経験や知識はありませんでしたが、業務において不明な点は、上司や同僚が丁寧に教えてくださるので、とても心強いです。今は日々の業務を通して知識や経験を積んでいるところですが、今後は私のこれまでの経験や知識も活かしながら、税関の使命遂行に貢献したいと考えています。